

事務事業名	H22新規 大明保育所指定管理事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5278				
			所属課室	子育て支援課		課長名	藤巻喜代子				
			所属担当	保育所担当		担当者名	志村 太				
基本政策	基本計画体系	17	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		28	社会福祉の充実		01	一般	03	02	04	21	00
政策			児童福祉の充実	事業区分	☒ 国の制度による義務的事業 ☒ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
施策											
事業期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☒ 期間限定複数年度 (22 ~ 31 年度)			法令根拠	児童福祉法、地方自治法						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 大明保育所に係る(1)入所・運営に関する業務 (2)施設及び設備の維持管理に関する業務等を「社会福祉法人 おひさま」に委託する業務。				事業費の主な内訳 (22年度)						
					項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
					委託料	124,384					
									計	124,384	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	社会福祉法人による大明保育所の管理運営業務
23年度活動予定	社会福祉法人による大明保育所の管理運営業務
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
児童の保育 保育所施設の維持・管理	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
保育サービスの充実 施設維持・管理を適正に行う	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安心して子育てができるようになる	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A 指定管理者との打合せ回数	回
I	
U	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A 入所児童数	人
I 施設の面接	m
U	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A サービスに満足した保護者の割合(アンケート)	%
I 施設・管理に関する苦情件数	件
U	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
A 「安心して子育てができる」と思う保護者の割合	%
I	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		4,560	5,020	5,020	5,020	5,020	
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円		2,014	1,782	1,782	1,782	1,782	
			一般財源	千円		117,810	127,045	127,237	127,237	127,237	
		事業費計 (A)	千円	0	124,384	133,847	134,039	134,039	134,039	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間		100	100	100	100	100		
		人件費計 (B)	千円	0	446	396	396	396	396	0	
		(A) + (B)	千円	0	124,830	134,243	134,435	134,435	134,435	0	
	活動指標			アイウ			50.0	50.0	50.0	50.0	
アイウ											
対象指標			アイウ	人		165.0	170.0	170.0	170.0	170.0	
			アイウ	m		1,221.0	1,221.0	1,221.0	1,221.0	1,221.0	1,221.0
成果指標			アイウ	%		65.0					
			アイウ	件		5.0					
上位成果指標			アイ	%		73.0					
			アイ								

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	大井・大明保育所の統合新設に伴い、新たなサービスの拡充を図るため導入。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	入所児童数の減少。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	保護者、児童に不安が生じないような運営を要望されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	H22新規 大明保育所指定管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている 【理由↓】 公立ではできない土曜日保育(AM8:00～PM5:00)の充実などサービスの拡充に結びついている。	
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である 【理由↓】 保育所は児童福祉法でいう「保育に欠ける乳児及び幼児を保育することを目的とする施設」であることから妥当である。	
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である 【理由↓】 保育所は児童と施設の維持管理という特殊な管理方法となることから現状の方法が最適である。	
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 委託して1年になるが、保護者の評判もよく現状での推移を見守りたい。	
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 公立で運営を行うと土曜日保育などサービスの低下につながる恐れがある。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 公立で運営を行うと土曜日保育などサービスの低下につながる恐れがある。	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 管理運営費は国の基準で算出しているため事業費の削減余地はない。	
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 入所児童数などの県への報告は、公立保育所・民間保育所共にすべて保育所担当で行っているため、人件費については指定管理者制度となっても削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 事業の決定は、指定管理者選定審査会での審査を経ているため公正公平に行われている。	

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	大明保育所保護者アンケート結果、指定管理についての評価は、大変良いが65%、普通までを入れると92%、運営委託先が「おひさま」については、大変良いが73%、普通までを入れると95%という高い評価であった。また、指定管理者制度導入施設における管理・運営の評価についても、施設管理に関する事項は、目標や計画通りの成果があり、施設の運営(保育)に関しては、目標や計画を上回る成果があった。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					